



安心の拠り所

社会福祉法人

ELDERS

2005 NOV

vol. 28

年長者の里

URL : <http://nenchousha.com> E-mail : elders@nifty.com

| |
|--------------------|
| 発行者 |
| 芳賀 晟壽 |
| 編集者 |
| 池上 謙吾 |
| 住所 |
| 北九州市八幡東区大蔵3丁目2-1 |
| TEL (093) 652-3939 |
| FAX (093) 652-3999 |

介護付有料老人ホーム パレス八幡 新春建設へ



芳賀 晟壽
理事長



社会福祉法人 年長者の里 理事会・評議員会において、介護付有料老人ホーム「パレス八幡」の建設計画が芳賀理事長から発表され、皆さんの賛同を得ました。

自立支援のケア・ホテル

- 〈パレス八幡〉の特色
- ① 鉄筋コンクリート造り 5階建て80室
不足しているショートステイも増設。
 - ② 各室25㎡(15畳)の広い室内:使い慣れたお気に入りの家具の持込自由
 - ③ 全室 バス・トイレ・床暖房付
 - ④ 保証人・身元引受人不要
 - ⑤ 遺言クラブ:弁護士・税理士の紹介制度
 - ⑥ フロア毎のユニットサービス対応
 - ⑦ 予防モデルのリハビリ機器を備え、デイサービスやコミュニティホール等を計画
 - ⑧ 大浴場・岩盤浴・個人浴槽

専属の管理栄養士による食事の提供、カフェコーナーでのお茶など、地域の皆さんと楽しみながらご利用頂きます。

複合施設・年長者の里の〈福祉と医療の機能〉を十分に活用し安心の拠り所を目指します。皆様のご支援をお願い致します。

順調な 〈パレス穴生〉

平成17年8月1日、八幡西区鉄竜(穴生ドームそば)に定員71名の介護付有料老人ホーム「パレス穴生」を開設しました。この入居状況も順調で、今年12月末には入居率90%近くに達する見通しとなりました。

年長者の里 入居待機者の状況

八幡東区大蔵の介護老人福祉施設・大蔵園の待機者は240名になっています。この待機中の皆さんは「住み慣れた八幡東区から離れられない。大蔵に特養施設の建設が無理なら介護付有料老人ホームができるといいが。」と申されます。

素敵な敬老週間をありがとう

老人ホーム西峰園では、施設職員のアイデアと手作りによるひよっこ踊りを披露。爆笑と喝采で盛り上がりました。(左から、野崎・皆元・瀬川の各介護職員と末光看護師の皆さん)



9月19日の敬老の日を中心とした敬老週間、年長者の里の各施設では、職員が工夫を凝らした様々なイベントで施設ご利用の皆様にお楽しみいただきました。また、この時期、様々な活動がされている市民グループや高校などのクラブ活動の皆さんが慰問公演

をしてくださり、楽しませて頂きました。ボランティアの方々もお掃除やお話し相手として、すばらしい敬老週間を演出してくださいました。ご協力いただいた皆様に心からお礼を申し上げます。(4面に、各施設の敬老の日行事掲載あり)

更なるサービス向上に 努めています

各施設では、業務の効率化とサービスの質の更なる向上に取り組んでいます。各施設の施設長が集まる毎週火曜日の幹部会でサービス向上への取り組み方針が示され、各施設職員が一丸となってこの運動に取り組むことになりました。

「施設環境」、「挨拶・マナー」「記録」「食事」「リハビリ」等の各項目について、施設ごとに目標を設定し、その実現に取り組んでいるところです。

「食事」はご利用者にとって大きな楽しみのひとつです。各施設では食器を陶器に替える検討も行っています。また、味付け・盛り付けに更なる工夫を凝らします。リハビリの充実のため、散歩・レクリエーションの充実も検討しています。

施設見学にも各方面から多くの方々がお見えになり、ご利用者の明るさや職員の元気な挨拶に感心しておられますが、更に楽しく明るく元気な「年長者の里づくり」を目指して参ります。

施設ご利用の皆様・ご家族の皆様も、各施設に設置しております「ご意見箱」を通して、あるいは施設職員へ、どしどしご意見をお寄せください。



視察・見学

八幡西ロータリークラブ ご一行様

☆10月21日(金)、八幡西ロータリークラブの皆様32名が年長者の里を視察されました。

この日、クラブの例会を当施設内のケアハウス4階「あじさいの間」で開催、当法人の芳賀理事長がゲストとして年長者の里の老人福祉への取り組みについて説明しました。クラブの皆さんはその後3班に分かれて施設を見学され、職員元気な挨拶に、「施設だけでなく雰囲気も明るいですね」と感心しておられました。限られた時間の慌ただしい見学ではありましたが、有意義な見学会になったようです。



韓国 春海(チュンヘ)大学 社会福祉学科ご一行様



☆9月30日には、韓国の春海大学の社会福祉学科に学んでいる皆さん27名が施設見学されました。

皆さんは、学校で学ぶ学問的な勉強だけでは物足りない、先進国である我が国の福祉施設の見学を企画するようになり、前年に引き続いて今回同大学としては2度目の年長者の里見学会となったものです。

参加された方は「韓国でもお年寄りを大切に敬う思想が根付いていますが、ここの施設でも高齢者を大切に敬う気持ちが随所に現れていて大変感動しました。ここの施設に根付いている『我が老を老とし、他の老に及ぼす』との言葉に心から賛同します。韓国で高齢者福祉の仕事に頑張りたいです」とご満足頂くことが出来ました。

山口市大内地区及び 八幡南区民生委員様

☆この他、10月13日には、山口市大内地区の民生・児童委員協議会(揚村賢一会長)の皆さん30名が、また10月28日には小倉南区民生委員・児童委員協議会の 小林 勤 会長様をはじめ婦人部の皆さん(お世話役:馬養三千子 様)37名が施設見学されました。

楊村会長さんも小林会長さんも、口をそろえて、職員の元気で明るい声と、施設の雰囲気が明るくてすばらしい施設だと感心されました。

丁寧な言葉遣いを!

平成17年度
オンブズマン会議開催

10月21日、ケアハウス4階「あじさいの間」において、平成17年度オンブズマン会議が開催されました。

会議には、江藤澄哉オンブズマン委員長・河嶋静代副委員長をはじめ、福田委員・前田委員、長田委員が出席。また施設側から芳賀理事長をはじめ各施設長が出席して、今年4月以降に寄せられた施設ご利用者の皆様からの苦情や要望と、これに対する施設側の対応について協議されました。

今回の会議に懸けられた苦情の中には、特に職員の言動に関する苦情が話題になり、「慣れ」の中で親密さの表現として何気なく発した職員の言葉も、それを聞いたご利用者としては暴言や聞き苦しい言葉として受け取られ、苦情の対象にもなります。

“親しき中にも礼儀”との言葉がありますが、“思い遣り”の気持ちと丁寧な言葉遣いに一層心掛けるよう、オンブズマン委員の先生方から要請されました。

ドクターよりひとこと 「インフルエンザを 予防しよう」

年長者の里 たつのおとしクリニック
院長・医学博士 小野 隆 生

●インフルエンザとは?

インフルエンザウイルスによって起きる感染症です。インフルエンザは、罹っている人の咳、くしゃみ、つばなどの飛沫と共に放出されたウイルスを、鼻腔や気管など気道に吸入することによって感染します。

●インフルエンザの症状は?

突然の38~39℃を超える発熱と頭痛、関節痛、筋肉痛などに加え、鼻汁、のどの痛み、咳などの症状がみられます。普通の風邪と異なる点は、高熱と倦怠感などの全身症状が出現する点です。しかし、高齢者には特徴的な症状が見られないことも多いので、注意が必要です。

●インフルエンザの診断・治療は?

抗インフルエンザウイルス薬(吸入薬のザナミビル(商品名リレンザ)経口薬のリン酸オセルタミビル(商品名タミフル))による治療が可能になっています。これらの薬は、発症後48時間以内に服用することが大切です。発症早期にインフルエンザウイルスを検出するための迅速診断キットがあり、30分程度で診断が可能です。

●インフルエンザの予防方法は?

予防の基本は、流行前にワクチン接種を受けることです。外出時はマスクを利用し、帰宅時にはうがい、手洗いをしてください。インフルエ

ンザが流行してきたら、人混みや外出を避けましょう。室内は加湿器等で適度な湿度(50~60%)を保ってください。日ごろからバランスのよい食事、十分な睡眠をとることも大切です。

予防薬として、リン酸オセルタミビルの使用が承認されています。しかし、その使用には下記の条件があります。また、薬の予防投与はワクチン接種による予防に置き換わるものではありません。

- (1) インフルエンザを発症している患者と同居する高齢者や慢性疾患の患者である。
- (2) 医療保険の給付対象とならない(全額実費)。

●インフルエンザに罹ったと思ったら。

風邪だと考えずに、早めに医療機関を受診して治療を受けましょう(発症後48時間以内)。

咳などの症状のある方は、周囲への感染拡大を防止する意味から、マスクを着用してください。

安静にして、休養をとりましょう。特に睡眠を十分にとることが大切です。

水分を十分に補給しましょう。お茶、ジュース、スープなど飲みたいもので結構です。

(参照:国立感染症研究所感染症情報センター)

わがまちの地域福祉と福祉経営

～企業経営と 福祉を考える～

西日本工業大学
研究センター 客員教授 皆川 重 男



会社は誰のもの?

最近、楽天の株式購入に伴うTBSとの経営統合・事業提携や、村上ファンドによる阪神電鉄の株式買占め?による阪神タイガースの株式上場などが、マスコミで話題になっています。このような問題の根底には、いつも「会社は誰のもの」という素朴で重要な課題が横たわっています。企業を取り巻く「利害関係者」(ステークホルダー)としては株主、経営者、従業員、顧客、取引業者、地域住民などが考えられます。堀江氏や村上氏が言う「株主利益の最大化」だけが会社の目的とはいえない面があります。

パフォーマンスの確立を

従業員の満足度の重要性と確立方法については、米国の経営学者バーナードが1968年に指摘しました。1980年代以降は、「顧客満足なくして利益なし」と顧客(消費者)満足を目指して最重要視することは、一般的な傾向となっています。最近では、企業も地域社会の一員であり、地域との連携・共存がなければ存続が出来ないと「企業市民」(Corporate Citizenship)の議論が盛んになってきました。要するに、企業は、企業を取り巻く様々な利害関係者にとつての「満足度」や「魅力度」の評価結果を「パフォーマンス」として、バランスよく向上させることが長期的な目的になっていると言えます。

基本理念は「利用者本位」

このような企業が福祉の分野に進出し、現状では、利潤を目的としない社会福祉

法人と同じ土俵で「競争」しています。「措置」の時代には、福祉事業者が一定のサービス水準を満たしていれば、行政が利用者を「措置」してきました。しかし、ここでも繰り返して述べてきましたが、介護保険制度が導入されて依頼、「措置」から契約へ、「利用者本位」の基本理念で、利用者が主体となって事業者を選択できるようになりました。そこでは、社会福祉法人も民間企業と同様に、社会福祉法人を取り巻く利害関係者全体に「満足度」と「魅力度」をパフォーマンスとしてバランスよく提供しなければなりません。

社会福祉法人に求められるもの

福祉サービス提供者に必要なのは、利用者満足(Customer Satisfaction)の高い「良質のサービス提供」にあります。重要なのは、提供する側が「サービスの質」を決めるのではなく、利用者が「質の高さ」を決定することです。経営学では、利用者志向(Customer Orientation)と呼んでいます。さらに利用者満足実現には、生き生きと意欲溢れる職場での従業員の満足(Employee Satisfaction)と地域連携が必要です。

社会福祉法人は、利用者志向の経営を基本に将来を見据え、事業継続が可能な効率的な経営を実践しなければなりません。働く人の満足や地域社会との連携を保ちながら、最近の企業買収劇を見ながら、ちょっと横道に逸れたかもしれません。次回請愛読。



いきいき広場



秋の一日 施設合同 青空ウォーキングでリフレッシュ

10月28日、年長者の里各施設合同で青空ウォーキングを開催しました。

当日、朝のうちは雲ひとつない青空が広がっていたのですが、昼前から雲が広がり、ウォーキングが始まる午後には、空一面の雲が拡がりましたが、日差しが遮られ返って気持ちよいウォーキング日和になりました。

心地よいそよ風の元、三々五々おしゃべりを楽しみながらのウォーキングや介助職員が押す車椅子での散策など、年長者の里内のお散歩コースや周辺遊歩道を一巡りした後は、いきいき広場でのおやつタイムです。調理職員が作った豚汁や、焼き芋で身も心もほっこりと温まりました。

また、おやつ後は今回は初めての試みとなったリハビリゲーム大会。



ビー球を箸でお皿に移す競技を楽しみました。さすがに箸使いに関してはベテラン、職員もびっくりするほどのスピードで見事にビー球を移されていました。

仕上げはリズム体操。「世界に一つだけの花」や「川の流れるように」のメロディーに乗って、手足を伸ばし身体をほぐし、秋の空気を胸一杯に吸っておられました。

この日の夕食はきっと最高に美味しかったことでしょう。

この青空ウォーキングは、歩行訓練や気分転換を図るため、昨年春・秋の年2回実施しているもので、今回はご利用者のご家族の皆さんや周辺地域にお住まいの方など約140名にご参加頂きました。



ケアハウス八幡 パレス穴生見学会と 百均ショッピングを楽しみました

同じ10月28日、ケアハウス八幡は、「パレス穴生」の見学と、百円均一ショップでのお買い物ツアーを楽しみました。

今回の秋のバスハイクは、入居者の皆様のご希望もあって、今年8月にオープンした介護付有料老人ホーム「パレス穴生」の見学会を行いました。

見学会では二班に分かれて、パレス穴生の井上支配人と佐渡島主任の案内で館内を見ていただきま

した。まるで洒落なホテルのような広々としたお部屋や、岩盤浴設備に皆さん感嘆しきりでした。お昼はリビングダイニングでケアハウス厨房手作りの松茸ご飯のお弁当を楽しんで頂きました。

パレス穴生見学会の後はJR陣原駅前にある百円均一ショップでのお買い物を楽しみました。お天気にも恵まれ、バスハイクに参加された皆さんも大変ご満足のようでした。

私は今⑨

「花たちに背中を押され健康に」



大和ミヤさん(86歳)
西峰園

誕生日をお尋ねしたところ大正11年11月7日のお生まれだそうで、「わー、私も11月7日なんですよ」と言っているいろいろお話を伺いました。

「お花を育てることが何より楽しいんですよ。夏の暑い盛りも毎日水をあげたり草を抜いたりで、恥ずかしいくらいに真っ黒になります」と弾けるような笑顔です。

今は本当にお元気な大和さんですが、「20歳代の頃は闘病生活が十数年も続いて青春時代の友達はベッドでした」と少し寂しそう。

「西峰園に入所して15年、入所以来この中庭をお借りして花を相手に毎日過ごすうちこ

なに元気になりました。お花たちが私の健康を後押ししてくれているようです。病気で寝込んだりしたらお花に水を遣れませんか。病気なんて出来ない。」と、とても明るい。

お花の手入れのほかは読書がお好きだそうで、これは「闘病時代に、ほかにすることがなかったんで読書の癖がつきました」とのこと。エッセイや随筆を読まれるそうで、闘病の場面などは昔の自分と重なって、胸が熱くなるそうです。

いつまでもお若くお元気で。

Presentation たつのおとしごデイサービスセンター



認知症専用のデイサービスとして3年目を迎えます。介護予防を中心に心身機能の維持・回復、生活リハビリを行い、症状の進行を遅らせ、喜びを感じていただける様に

にご家族と共に努めております。

また、年に2回の家族会では、ご家族の様子や介護の工夫について話し合っていたいただき、他にも同じ悩みを持つご家族がいらっしゃるという事で、安心と力を分かち合っていて頂いております。なじみの空間で「ふれあい」「たすけあい」「なごみあい」を心に、援助させていただきます。

お問い合わせは ☎652-3945

当施設の2名が県大会出場

平成17年度 電話応対コンクール



10月25日、福岡市のホテルで、平成17年度電話応対コンクール福岡県大会があり、当年長者の里から北九州予選を突破した大蔵園事務職の星倉美枝子さんと、正寿園デイケアセンター介護職員の兵働晴美さんの2名が会場。健闘しました

が残念ながら入賞を逃し全国大会への進出はなりません。

今年度の課題は、宅配ピザの店員になってお客様からの注文の電話を受ける設定。ご注文に対して、この店で行っているキャンペーン商品への切替えをお勧めするとともにバースデイプレゼント企画へのご参加をお勧めし、誕生日を覚えていただく設定となっていました。

当施設から3名が出場した北九州地区予選では、北九州地区の企業から34名が出場して対応の技術を競い、優勝・準優勝の各1名と優秀賞4名の合計6名が県大会に進みました。地区予選で優秀賞を獲得し県大会へ駒を進めた星倉さんと兵働さんは、対応技術に更に磨きを掛けて挑戦しましたが今一歩及ばず県大会での入賞を逃しました。

笑顔弾けた2005敬老週間



▼戸畑商業高校ブラスバンドの皆さん (正寿園)



▲白優会の皆さんの日舞 (正寿園デイケア)



▲お餅つきも楽しみました (正寿園デイケア)



「月下美人」パンチのきいたよさこい (大蔵園) ▲



ケアハウス八幡 北九州を歌う会が 慰問公演

一階八幡デイサービスセンターを会場に、市民コーラス「北九州を歌う会」(今井昇代表世話人)の七十名が、「花」「エーデルワイス」「みかんの花咲く丘」など「花」をテーマに懐かしいコーラスメドレーを披露して下さいました。

プログラムの後、会場の皆さんからのリクエストに応え、「もみじ」や「ふるさと」、「赤とんぼ」など次々にリクエスト曲が寄せられ、懐かしい歌を皆で合唱、感動で目頭を押さえる方もおられました。

正寿園 吹奏楽と太鼓の競演

正寿園では、九月十九日、戸畑商業高校吹奏楽部の皆さん(三〇名)が慰問演奏をして下さいました。戸畑商業高校の皆さんも毎年この時期においでいただいています。今回は、美空ひばりの歌「りんご追分」「柔」などお年よりには懐かしい選曲で、盛んな拍手が送られていました。

また、八幡西区で活動されている鳴水太鼓の元気の良い撥さばきと掛け声に、パワーを頂いたようです。

正寿園デイケア

昼食に工夫とダンス パーティ・お餅つき など多彩な行事

十六日から二〇日まで敬

西峰園

職員による ひよっここ踊りや 黒猫ホストに 喝采と拍手

介護職員九名による「日向ひよっここ踊り」を披露、軽快でこっけいな腰の振りに喝采と笑いが弾けていました。お面や衣装も自分達の手作りでしたが、入居者の皆さんに大変喜んで頂いて敬老の日になさわしい出し物になりました。演じた方

も観覧者も大満足でした。

また、調理職員八名は、テレビ番組「スマップ・スマップ」をヒントに、「恋のマイアヒ」の軽快なリズムに乗って、「ホストクラブ黒猫」のお芝居を披露。手作りの黒猫ホストの衣装とメイク、全てがアドリブと言う楽しい演技に、ご利用者もお客になつてドリンクを注文するなど、ご利用者やご家族・職員が一体となつてお芝居を楽しんでいました。

大蔵園

”よさこい”と 小倉祇園太鼓 競演会

大蔵園では、中庭の芝生広場で、グループ「月下美人」の皆さんの元気溢れるよさこい踊り、と北九州市都市建築局の皆さんなど市民グ

ループによる鼓九楽(こくら)太鼓を楽しんで頂きました。

それぞれのグループのメンバーには当大蔵園の職員も参加して活動しているところから、今回の敬老の日プログラムに選ばれました。

月下美人のメンバーには小学生も参加し大人のメンバーに負けない元気な「よさこい」を披露していました。揃いのハッピできびきびとした動き、全員の息がぴたりとあつた演技が感動的でした。

また、鼓九楽(こくら)太鼓の皆さんは小倉祇園太鼓を披露。途中から小雨が落ちだす中、ジャンガラに合わせた太鼓の撥さばきにご観覧の皆さんから大きな拍手が送られていました。

(60歳、K・I)

2005年 11月4日・5日・6日 起業祭賑わう



朝夕めっきり冷え込み、早朝の河内野水池には朝霧が立つようになりました。

今年の起業祭もう終わりました。八幡市だった頃の起業祭は学校も休み。起業祭の思い出は、サーカス・露店、花火、冬の始まり、母が作る甘酒、遠くの従兄弟が泊まりに来る日、父が働く製鉄所見物、などなど。

そう言えば、その頃の父はとても得意げに工場を案内してくれました。父はすごいなあと思ったものです。